

今治港、菊間港及び宮崎港において本邦と外国との間を往来する船舶
と陸地との間の交通又は貨物の積卸を行う場合に経なければならない
場所について

関税法（昭和 29 年法律第 61 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、今治港、菊間港
及び宮崎港において、本邦と外国との間を往来する船舶と陸地との間の交通又は貨物
の積卸を行う場合に経なければならない場所を次のように指定し、同法施行令（昭和
29 年政令第 150 号）第 22 条 第 1 項の規定により公告する。

なお、神今支揭示第 1 号（平成 25 年 2 月 21 日）は廃止する。

令和 5 年 5 月 30 日

松山税関支署長 岡田 周造

第 1 旅客、船員及びその他の交通者

1. 今治港

外 国 往 来 船	交 通 経 由 場 所
今治港内停泊船	第 1 栈橋及び天保山物揚場。
第 2 栈橋、天保山物揚場、蔵敷 岸壁第 1、第 2 及び第 3 の維け い船	各維けい栈橋及び岸壁。
蔵敷岸壁第 4、富田岸壁第 1 及 び第 2 の維けい船	今治港港湾管理者が蔵敷岸壁第 4、富田岸 壁第 1 及び第 2 に維けい中の本船と交通すべ き場所として設置した出入口。

2. 菊間港

外 国 往 来 船	交 通 経 由 場 所
太陽石油㈱四国事業所栈橋、 ドルフィンバース及びシーバー ス維けい船	愛媛県宮佐古浮栈橋 通船発着場。 ただし、太陽石油㈱四国事業所に係る業務 関係者については同所栈橋、ドルフィンバー スを含む。

3. 宮崎港

外 国 往 来 船	交 通 経 由 場 所
波方ターミナル(株) 棧橋維けい船	波方ターミナル(株) 正門。

第2 貨物の積卸を行う場合の経由場所

1. 今治港

- (1) 第1 棧橋、第2 棧橋及び天保山物揚場。ただし、船用品、携帯品及び託送品に限る。
- (2) 蔵敷岸壁第1、第2、第3 及び第4。
- (3) 富田岸壁第1 及び第2。

2. 菊間港

- (1) 太陽石油(株) 四国事業所棧橋、ドルフィンバース及びシーバース。ただし、当該保税地域（他所蔵置場所を含む。）に出し入れされる貨物に限る。
- (2) 愛媛県宮佐古浮棧橋 通船発着場。ただし、船用品、携帯品及び託送品に限る。

3. 宮崎港

- (1) 波方ターミナル(株) 主受入バース、NO.1 バースから NO.6 バース。